

アビタックス・FOLFIRI療法を受けられる方へ

科 ID:

様

担当薬剤師

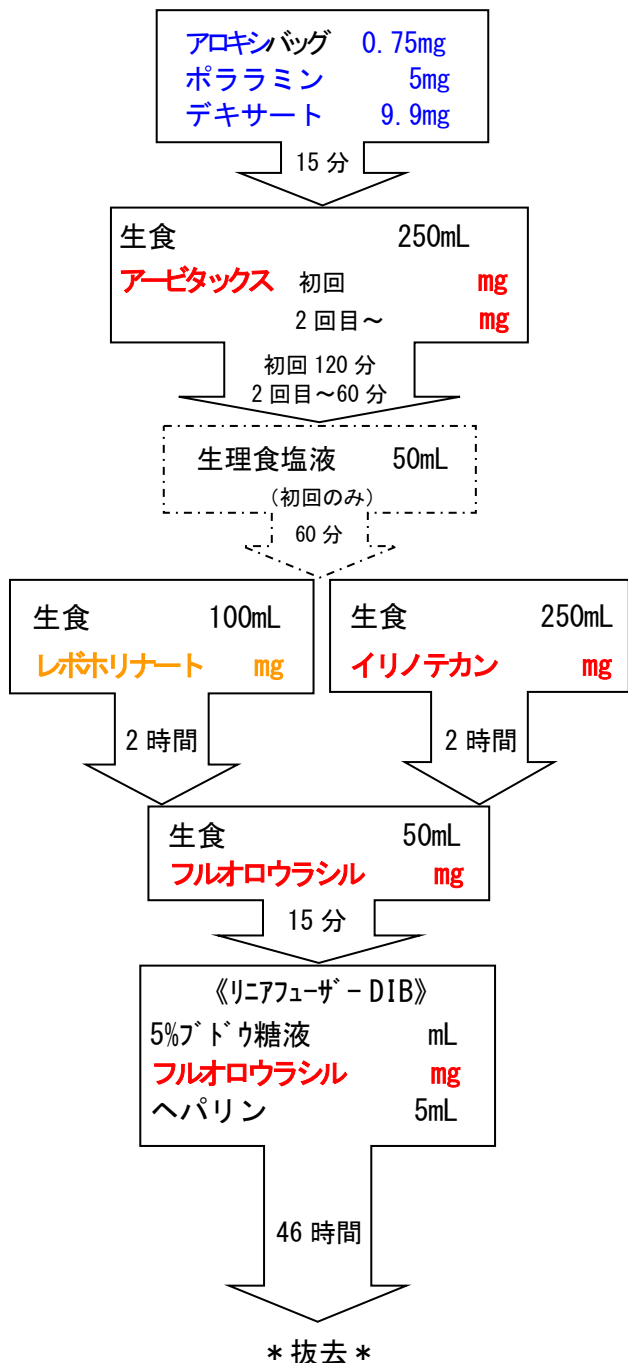
【投与スケジュール】

	1日目	2日目	3～14日目
アビタックス	○		
イリノテカン	○		
フルオロウラシル	○		
フルオロウラシル(持続)		○	

☆ 2週間毎に繰り返し行います。

☆ 検査の結果によってスケジュールや投与量が変わることがあります。

【点滴内容】



アロキシ：吐き気を抑える薬です。

ポラミン：アレルギー症状を抑える薬です。

デキサート：吐き気やアレルギー症状を抑える薬です。

レボホリナート：フルオロウラシルの効果を高める薬です。

アビタックス
イリノテカン
フルオロウラシル

：がん細胞の増殖を抑える薬です。

ヘパリン：管の中の血液を固めにくくする薬です。



【主な副作用と対策】

インフュージョン・リアクション：アービタックスの点滴を始めてから、発熱・悪寒・吐き気・頭痛・疼痛・痒み・発疹・咳・胸の重苦しさなどのアレルギーに似た症状が起こることがあります。違和感があるようでしたら知らせてください。

アナフィラキシー様症状：お薬を投与することで、アレルギーに似た症状が発現することがあります。息がしにくい、胸が締め付けられる、といった症状がある場合にはすぐに知らせてください。

白血球減少：投与後 7～14 日頃に最も減少すると言われています。
白血球が少なくなると、病原菌に対する体の抵抗力が弱くなり、
風邪などの感染症を起こしやすくなりますので、
うがい・手洗い・マスクといった感染予防を心がけましょう。



赤血球減少：血液の赤い成分が減少することで、めまいやふらつき、疲れやすくなるといった副作用が起こることがあります。十分な休息をとりましょう。

血小板減少：投与後 7～21 日頃に最も減少すると言われています。原因不明のあざ・鼻血・歯茎からの出血・頭痛などが起こることがあります。出血しやすくなりますので、怪我や転倒には注意してください。

食欲不振・悪心・嘔吐：投与後～2-3 日ほど現れることがあります。あらかじめ吐き気止めを投与していますが、他の薬もありますのでつらい時には申し出てください。また、食事はおいの少ないもの・冷たいもの・食べられるものを少しずつ、食べられる分だけ摂取するようにしましょう。



下痢：排便回数が増えたり、下痢になったりすることがあります。
下痢をしている間は脱水にならないように水分摂取をしましょう。
症状によっては下痢止めを使用することがあります。
また、1 日に 4 回以上の下痢や血の混じった便が出るときには連絡してください。



便秘：水分を摂取したり、お腹のマッサージをしましょう。下剤や便を軟らかくする薬も使います。

脱毛：おおよそ 50%の方に脱毛が生じます。投与後 14～21 日経つと抜け始めます。
治療終了後 6 ヶ月ほどで生えそろってきます。



口内炎：食後に歯磨きをするなど、口の中は清潔に保っておきましょう。

味覚障害：食べ物の味が変わって感じるがあります。
治療が終了すれば徐々に治ります。



色素沈着・爪の変形：皮膚や爪の色が着色したり、爪が変形してしまうことがあります。

長い時間直射日光にあたらないようにしましょう。

治療が終了すれば徐々に元に戻ります。



低マグネシウム血症：体の中の電解質（イオンバランス）がくずれ、食欲不振や眠気、脱力感などを生じることがあります。

疲労感・全身倦怠感：全身がだるくなったり、力が抜けたような感じになることがあります。

皮膚への影響：顔や背中、胸、腕などににきびのような発疹、

皮膚の乾燥・炎症が多くの方に起こります。

石鹸を刺激の少ないものに変更したり、

保湿剤を使って乾燥を防ぎましょう。

また、日焼け止めなどで紫外線による刺激も避けましょう。

人によっては、手足の爪に影響が出る場合があります。

爪が巻き込んで化膿したりすることがあります。ひどくなる前にお知らせ下さい。

皮膚症状対策については別紙を参照してください。



腎・肝障害：お薬によって腎臓や肝臓に影響が出る場合があります。

心障害：薬の影響で心臓に負担がかかることがあります。

間質性肺炎：非常に稀ですが、薬の影響で肺炎が起こることがあります。

咳・発熱・息切れといった症状が続くようでしたらお知らせください。



血管外漏出：針の刺入部の皮膚が赤くなる・腫れる・痛い・熱っぽい・かゆみが出るなどの症状が現れる場合があります。異常を感じたらすぐに知らせてください。（CV ポート）

【処方薬について】

*** この治療を受けられる方には、副作用予防として薬が処方されることがあります。**

□ デカドロン錠 4mg : 1日1回 錠 朝食後 (- 日目)



□ ミノマイシンカプセル : 1日2回 朝・夕食後 1回1カプセル



□ ヒルドイドローション : 1日数回 乾燥した部分に塗布

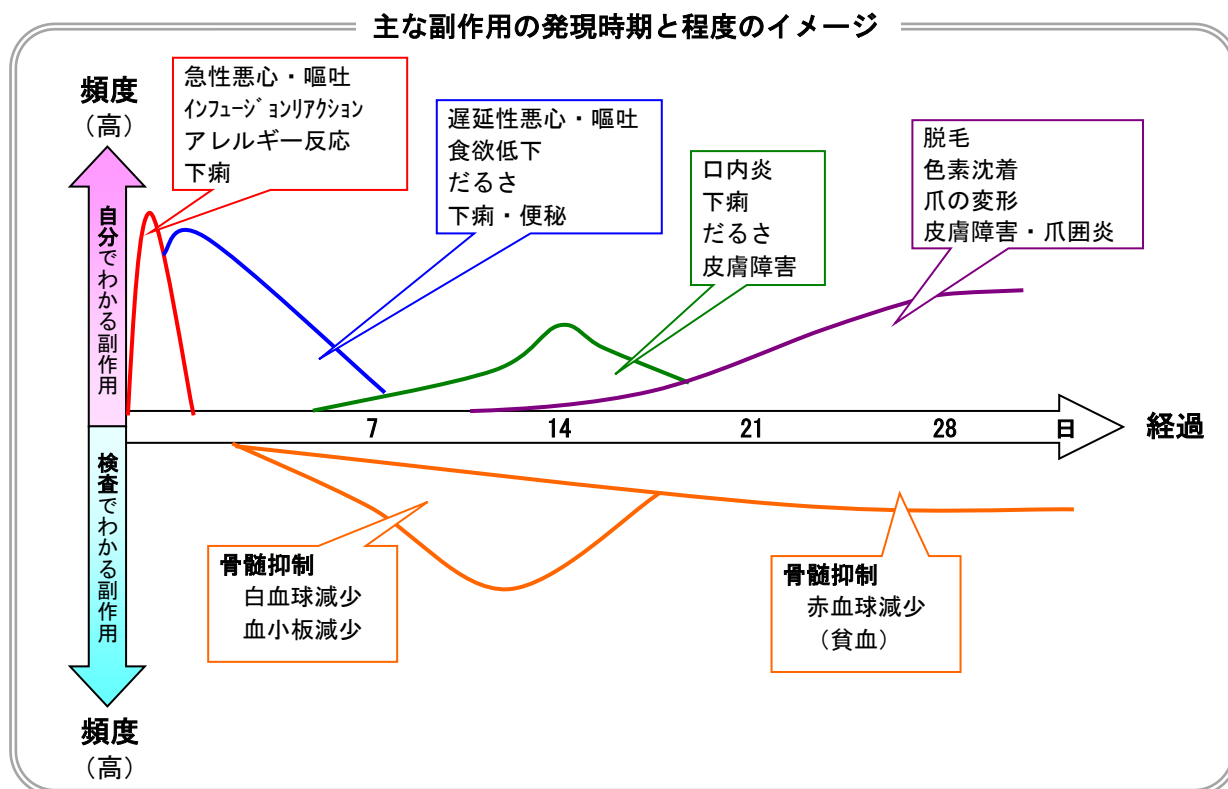


□ マイザー軟膏 : 1日2回 顔以外の赤くなったり皮疹がでた部分に塗布



□ ロコイドクリーム : 1日2回 顔の赤くなったり皮疹が出た部分に塗布





【日常生活で注意していただきたいこと】

- ① 抗がん薬は投与後しばらくの間、尿や便に残ります。抗がん薬投与後2日間(48時間)は、トイレのふたを閉めて水を2回流しましょう。男性の方は尿の飛び散りを防ぐために座って排尿しましょう。
- ② ご家族が吐物や排泄物を処理する場合には必ず手袋をしましょう。
汚染したゴミはビニール袋に入れて口元をしっかりと閉じてから廃棄してください。



副作用の全てが現れるわけではありません。

また、これら以外の副作用が現れる場合もあります。

気になる症状がありましたら必ず医師・薬剤師・看護師にご相談ください。

この説明書はかかりつけ医やかかりつけ薬局薬剤師にもお見せください。



お薬に関する相談先

北信総合病院 (代表)0269-22-2151
薬剤部 医薬品情報管理室 内線 2530

